

～ みなくち子どもの森 園内 ～ (10・11月ごろ)

# 今月の生き物 (どうぶつ・しょくぶつ)



## ソヨゴの実

森の尾根近くに多く見られる高木です。赤い実が一つずつ、ぶら下がります。



## クサギの実

園路沿いに生えています。青い実が、星のような形の赤いがく片に包まれます。



## コウヤボウキの花

森の中の小径沿いに見られます。糸のような細かい花びらが特ちょう的です。



## シロヨメナの花

林のへりの草地に見られる野菊のなかま。葉をもむと、ミカンのような香りがする。



## ミゾソバ

体験農場のミゾの周りに多く生えます。金平糖のような形のピンクの花。



## リンドウ

湿った草地に少しずつ生える野生のリンドウ。大切に守りたい花です。



## フユイチゴの実

園路沿いの林の下に生えています。赤い実は食べられますが、動物や鳥のエサとして残してあげましょう。



## ジョウビタキ

10月下旬頃に、北の国から冬を越すためにやって来ます。“ヒッ、ヒッ、ヒッ”と鳴いたらこの鳥を探してみてください。



## キチョウ

園内の草地で見られる黄色のチョウ。チョウのままじっと春を待つ種類です。



## アカタテハ

素早く羽ばたいて飛び、明るい森の道によく止まります。チョウのまま冬をこします。



## アキアカネ

体験農場などの明るい場所で見られます。10月中旬になると、涼しい山から降りて、平地の水田の水たまりに産卵します。



## トノサマバッタ

9～10月に森の広場で見られます。数十メートルも飛ぶ事があります。クルマバッタやクルマバッタモドキと似ています。



## トゲナナフシ

晩秋の森を歩くナナフシの仲間。ただし、茶色く動きがにぶいので、あまり見つかりません。体にトゲがあります。



## コカマキリ

園路沿いの草地で見かける細身で小型のカマキリ。前足の黒・白・赤のもようが特徴。



## ハラビロカマキリ

森の木の上にすむカマキリで、野原には住みません。お腹が太いのが特徴です。